

2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [Sherry 英語教室] 担当教諭名 [塩飽 隆子] (小学5-6年 10名)

相手国・地域 [フランス]

海外学校名 [Honore de Balzac] 担当教諭名 [Fujiko Martin]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	英語	英語を使って伝えよう！	14
	課外活動	絵で想いを表そう！	8

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	世界遺産とわたしたち
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	お互いの国の世界遺産について学び、お互いの文化を理解しよう！ 世界遺産を大切にして、平和を願おう！



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
英語を使って実際に海外の相手とやりとりができることを体験して、世界が身近に感じられるようになった。 英語を学ぶモチベーションが高まった。	相手の学校でスカイプの使用が許可されていなかったため直接顔を見て話をするのができなかったのが残念だった。テーマが世界遺産という普段の生活から離れたテーマだったのではじめは自分事にするのが難しい様子だった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
世界遺産について調べて相手に伝えることで、新たな目で世界遺産を見ようとする態度が見られた。 相手と1対1でペアを作ってやりとりをしたり、相手から手作りのカードやプレゼントをもらったりしたので、フランスが身近に感じられるようになった。	フランスの学校を直接訪問する機会に恵まれたので、相手の学校や地域の環境、教育の方針を実際に知ることができ、日本との違いも分かった。途上国との教育の違いは常々感じているが、どの国にも独特の教育環境があることを実感した。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	自己紹介カードを作成して相手に送り、相手からも自己紹介カードが届いた。日本とフランスの生徒のペアを作ってフォーラム上でやりとりをした。	自分の良いところをアピールしようと工夫してカードを作成していた。フォーラムで相手の自己紹介カードを見て、日本と違うことが多くて驚いていた。	英語
共有 テーマ学習	10月	お互いの地域にある世界遺産を教え合った。世界遺産が市内にあるわけではないのではじめは身近に感じられなかった。同じ播磨地区の姫路城に焦点を絞ることで関心が高まりテーマ学習が充実していった。	姫路城は美しいだけでなくの敵を欺くたくさんの仕掛けがあることを知って興味が沸き、相手に上手に特徴を伝えていた。パリの世界遺産は有名なので羨ましがっていた。	英語
融合 想いを合せた メッセージ 壁画デザイン	11月	世界遺産の意味は何かを考えて意見交換をした。日本側は平和に繋げて考えたが、フランス側は友情に繋がったところが興味深かった。	ネットで調べたことを元に自分たちなりの意見を出し合った。学習前は世界遺産と平和が繋がるとは思っていなかったようだ。	英語
創造 壁画制作	12月	姫路城をメインに姫路の祭りや和食を取り入れることにした。下絵は4人の代表が描き、色は全員で塗った。画面いっぱい力強く世界遺産姫路城と祭りを描くことができた。	それぞれが描く分担を相談して決め、各自が分担したところを責任を持って描いた。絵が苦手な子に助けを助ける姿も見られた。	課外活動
評価 振り返り 自己評価	3月	学習の各段階で生徒たちはよくがんばったと思う。相手もよく反応してくれた。その成果である絵について、相手の絵が日本の絵にあまり調和していなかったのが残念だった。	完成作品を見て生徒たちは少しがっかりした。絵を描く前の学習では意見の共有もできて想いを合わせたはずだったが、相手の絵が自分たちの絵とあまり調和していなかったためだ。	英語

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	姫路城について調べていくと興味深いことが次々とあり、意欲的に取り組んだ。相手に自慢気に姫路城のからくりを伝えていた。
異文化の理解	A	4	フォーラムにアップされる相手の世界遺産や学校生活の様子に関心を持って見ていた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	4	習った英語を使って楽しそうに自己紹介カードを作成したり、辞書を使って姫路城の説明を書いたり、伝えようとする気持ちが見えた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	3	ネットや姫路市の観光パンフレットから情報を集めて、写真と英語でまとめて発信した。時間上、情報集めは教師中心でした。
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	B	4	日本とフランスの子どもたちの1対1のペアを作ってやりとりをしたので友達意識が生まれた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	特に絵の制作の場面で、人にアドバイスを求めたり、助け合ったり、お互いに協力する姿がよく見られた。
学習を追究する意欲	A	4	フォーラムでのやりとりでモチベーションを維持することができた。
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	A	5	一人一人が相手に伝えたい想いを十分に絵に表現することができて満足そうだった。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	B	3	相手の絵については少しがっかりしたところがあり、時間もなかったため、最後の自己評価が十分にできなかった。